

12月14日

功績をたたえて 危険業務従事者叙勲伝達式を開催

受賞した伊藤さん中央



危険業務従事者叙勲を町内の伊藤秀明さんが受賞し、その伝達式が12月14日、役場応接室で行われました。

この叙勲は、昭和49年に消防士になってから、38年間消防の任務を遂行し、災害に即応できる消防体制の確立や災害防止、被害の軽減に尽くした功績が評価されたもので、受賞した伊藤さんは「今回受賞できたのは消防職員や多くの関係者のおかげ」と話していました。

12月13日

生徒の健康管理に尽力 学校保健表彰の表彰式を開催

受賞した行木さん中央



学校保健表彰を町内の学校医である行木紘一さんが受賞し、その表彰式が12月13日、弟子屈高校(加藤誠校長)で行われました。

この表彰は、町内にある学校の学校医として約30年間にわたり、生徒の健康管理に従事し尽力してきたことや、健康管理医として、教職員の健康管理に関する取り組みを行ってきたことが評価されました。

行木さんは「生徒数が少なくなり寂しい気持ち。町の今後のために開業医として引き継いでくれる人がいたら」と話していました。

12月22日

町産ブドウ「山幸」を使用 葡萄色の旦【木樽熟成】の販売発表

ワインを手持し徳永町長



町産のブドウを使用した葡萄色の旦【木樽熟成】2022の販売発表が12月22日、役場で行われました。

10月に販売されたステンレスタンク醸造分よりも長い、8か月間フレンチオークの木樽で熟成されたワインで、フルーティーでマイルドな味わいとなっているとのこと。醸造本数は619本。町内の販売店10店舗で12月27日より一般販売されています。

12月22日

地方自治の振興と発展に貢献 小川義雄さんが北海道社会貢献賞表彰を受賞

受賞した小川さん中央



長年にわたり市町村長や市町村職員・議会議員として地方自治の振興と発展に貢献された方の功績をたたえる北海道社会貢献賞(自治功労者)を町議会議員の小川義雄さんが受賞し、12月20日に札幌市で開催された表彰式に出席されました。

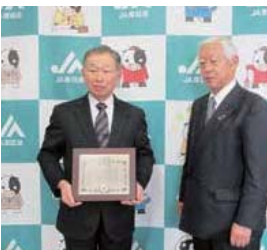
平成12年から6期22年にわたって、町議会議員として地方自治の振興発展に寄与された功績から今回の表彰となりました。

22日には妻の紀江子さんとともに役場を訪れ、報告会が行われました。

12月15日

長年にわたり献血運動に協力 摩周湖農業協同組合が日本赤十字社献血功労団体表彰

銀色有功章を手にする望月代表理事専務(左)



摩周湖農業協同組合(川口覚代表理事組合長)が7月26日、千葉市で行われた第59回献血運動推進全国大会で銀色有功章を受章しました。

永年にわたる献血運動への功労が称えられたもので、伝達式は12月15日、同組合で行われ、日本赤十字社弟子屈町献血推進協議会会長の徳永町長から、望月信雄代表理事専務に銀色有功章と記念品が手渡されました。

12月22日

新しい就農者を激励 新規就農者準備金贈呈式を開催

目録を手にする高橋さん(左)



12月から新規就農した高橋達朗さん・希美さんご夫婦の町新規就農者準備金贈呈式が12月22日行われました。贈呈式には、徳永町長、町農業委員会江上会長、摩周湖農業協同組合川口組合長、釧路農業改良普及センター齋藤所長が出席。お二人には町と摩周湖農業協同組合から準備金の目録が贈られました。

また、江上会長、川口組合長、齋藤所長が立会いの下、家族経営協定の調印式が同日に行われました。

11月18日・19日

高付加価値とは てしかが観光塾を開催

セミナーを聞く塾生の皆さま



令和5年度てしかが観光塾(徳永哲雄塾長)が「高付加価値化と地域を考える。」と題し、11月18日～19日の2日間、川湯ふるさと館で開催されました。

同塾は、てしかがえこまち推進協議会が主催するセミナー。観光を担う人材を育成することを目的に毎年開催しています。本塾の副塾長の国土交通省認定観光カリスマの山田桂一郎さんをはじめ、㈱日本総合研究所調査部主席研究員の滝浩介さんや㈱星野リゾート北海道統括総支配人の相内学さん、(一社)ドット道東の中西拓郎さんのほか、町内事業者の方々などを講師に迎え、高付加価値化が与える地域への影響について、20人を超える塾生の皆さんと学びました。

カメラスケッチ
広報マンが行く!!
このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。
※1日1回の政策課政策調整係 ☎482-2913 (課直通)

12月11日

心のもった手書きの年賀状 手紙出前授業を開催

一生懸命に年賀状を書く児童



弟子屈小学校(渥美清孝校長)の2年生が12月11日、「手紙出前授業」で年賀状の書き方を学びました。

日本の伝統文化である年賀状にふれる機会を大切にしてほしいと、毎年この時期に行われているもので、講師に日本郵便㈱北海道支帯広営業統括本部長の中嶋見義さんと、補助講師として同本部の乾陸尚さん、弟子屈郵便局の藤原局長、川湯郵便局の上村局長が来校し、年賀状の書き方を指導。児童は思い思いに心を込めて年賀状を書いていました。また、授業では手紙が配達されるまでの流れや、全国の珍しい郵便ポストも紹介されました。

12月13日

子どもたちの安全を願って 小中学校に防犯グッズを贈呈

防犯グッズを受け取る児童



弟子屈防犯協会(山口武司会長)は12月13日、町内の小中学校6校に防犯グッズを贈呈しました。

同協会は、コロナ禍で今まで大きな活動ができず、町に何か還元したいという思いで、各学校に欲しい防犯グッズの要望を募り山口会長が各学校へ訪問。反射板付きのホイッスルやハンディライトなどを贈呈し、「知らない人に声をかけられた時など何かあれば、親や先生に報告するようにしてほしい」と話していました。

12月4日～22日

目を楽しませる作品の数々 弟子屈郵便局で同時開催

中村さんと作品の数々



弟子屈郵便局(藤原将男局長)では、12月4日～22日、「絵と詩の趣味ひととき展～夕映えが美しいように～」と18日～22日、「全日本年賀状大賞コンクール展」が開催されました。

絵と詩の作品を制作した中村日汀子さんは町内在住で、約60年前に絵や詩を書くこと始め、毎年心温まる作品25点を展示していました。

年賀状大賞コンクール展では、426枚の入賞のうち、絵手紙部門の佳作に選出された弟子屈小学校(渥美清孝校長)2年(当時)の岡林瑞季さんの作品も展示されていました。

12月12日

子どもに伝える性教育 放課後児童クラブ保護者講演会を開催

命の大切さを学ぶ



町主催の放課後児童クラブ保護者講演会が12月12日、町公民館講堂で開催されました。

講演会は、性教育アドバイザーのあおきなえさんを招き、性教育を中心に、命の大切さや子供を性被害から守るため、子どもとの関係性や子育てに必要な声の掛け方などを学びました。

参加者には、保護者だけでなく子供と関わっている認定こども園保育士など31人が参加し、子育てや子供との関わり方を学んでいました。